





連載小説(中篇) 「旅鳥清水土産」【5】

遠藤 紳作

おはぐろ溝とでも名づけた。桃林を横きつて忠兵衛の... 小川に沿ってその川端の毒した... あざみの髪はいつも無き青... 運かつたッ!

して、それから再び見開いと懐へる指でそれを擦り... 行燈の灯に當てて見た、閉... と一瞬に白茶けた物が映つ... 紙入だつた、見覚えの「うむ!」立ちこめる血の... みるものではなかつた... 半五郎は素早く拾ひ上げる... 『おッ』

丸八鐵工場 小名濱町築港入口 電話一七五番

ケーエス商會 小名濱町 電話一五九

上田科外醫院 平町南町

藤器家具店

和久井屋 電話四〇五番

酒銘 王の井 長瀬彰義醸造

鈴木科眼醫院 小名濱町西町

忘年宴會は 吉田屋別館 小名濱海岸

吉田屋本店 小名濱町中島

酒研理の上以酒銘 雪 醉 郎太勝「酒銘」 店商屋藤加店約特

諸橋外科醫院 電話四六四 平町新川町

江名鐵工場 電話二十九番

磐城水産工業株式會社 電話一四四番

資生堂藥舖 電話一四七番